



教育、学習支援環境としての大学図書館 ～国内外の事例から～

九州大学 基幹教育院 山田政寛（やまだ まさのり）

教育の質向上に関するキーワードはいろいろ

- アクティブラーニング
 - 授業デザイン
- シラバスの明確化
 - 授業カタログではない、授業の中身が見えるシラバス
- 成績評価
 - ルーブリックなど

授業外学習の実質化

今日のテーマは2つ

- 昨今の「教育の質向上」キーワード：アクティブラーニングのデザイン
 - まずはアクティブラーニングがどういうものか、知ってください
- ラーニングコモンズにおける学習支援
 - 今回はフォーマルラーニングにおける支援に焦点化する

アクティブラーニング

アクティブ・ラーニングや双方向型の授業を中心とした教育の質的転換のための取組を促進する。主な取組として、**学生の主体的な学修のベースとなる図書館の機能強化**、ICTを活用した双方向型の授業・自修支援など、学修環境整備への支援も連動させながら促進する。例えばICTの活用においては、**大規模公開オンライン講座(MOOC)**による講義の配信や・・・

文部科学省：学修環境充実のための学術情報基盤について（審議まとめ）

図書館に対する期待

21世紀スキル(atc21s, 2012)

- 思考法
 - 創造性とイノベーション

プロセス重視のスキルの習得が求められる

(Noss, 2012)

- 情報通信技術リテラシー
- グローバル社会への適用
 - 市民性・国民性とグローバルな感覚
 - 人生とキャリア
 - 個人と社会への責任・文化意識に対応

atc21sより取得

<http://atc21s.org/>

学習観の変化

- 「知識が伝えられる**だけ**」から「学習者間や人工物との交互作用を通じて、知識が再構成される」へ
- インフォーマルコミュニケーションの価値が高くなる
- **メタレベル**での学習
 - 何ができて、何ができないのか、できるためにはどうすればいいのか（自分でやるのか、他者の力を借りるのかなど）
- 能動的・主体的な学習者
- アウトプット評価のみから学習プロセスを含めた評価

MOOC

インプットの機会が無料で授業外で可能



アクティブラーニングなど対面授業の充実化が求められる

アクティブラーニングとは



- 学習者自身が学習に責任を持つことを重視した複数の教授モデルを表す総括的用語（根本・鈴木, 2008）
- 学生の自らの思考を促す能動的な学習（溝上, 2007）



学習環境デザインプロジェクト

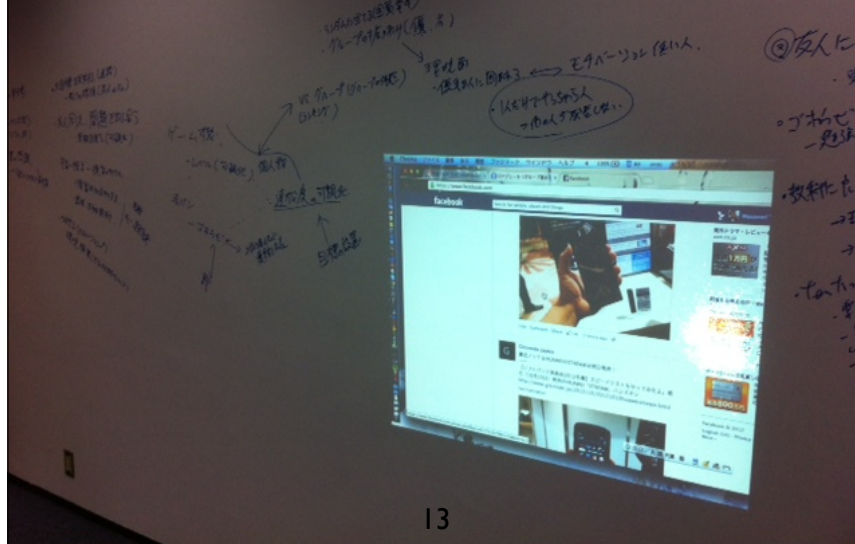
- 知識習得と実践を組み合わせたプロジェクト学習
 - 学習の主体は学生にある
 - 正解はない
 - 学生が何をすべきかを考え、企画をし、提案をする
- 提案者（学生）－採用者（図書館職員）という、現実世界のセールス－顧客的構図
- 情報共有・議事録・提案・振り返りはFacebook
- 3年間実施
 - 3年の中で学生からの提案が実現したものもある

11

例：プロジェクト型授業

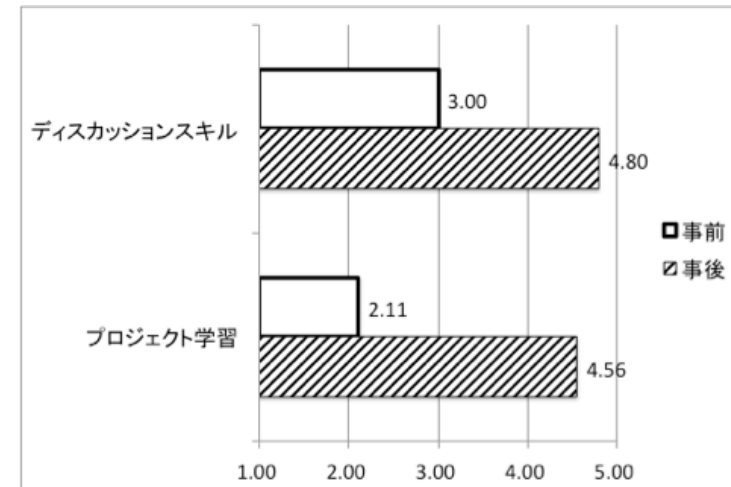
1	オリエンテーション：学習環境デザインとは
2	学習観の変化：行動主義と社会構成主義
3	認知心理学・認知科学の知見：アフォーダンス理論
4	協調学習のデザイン：可視化・ラベリング・コンテンツ
5	学習空間：各大学の事例を読む
6	効果測定：何を以て効果があるとするのか
7	プロジェクトワーク ・毎週、授業始めにレビューを行う ・Facebookを授業外の学習支援に使用
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	最終プレゼンテーション

デザイン提案事例



13

コミュニティ所属感の比較



定着度の評価

- 講義型授業と協調型授業との比較 (Miyake, Shirouzu, and Chukyo Learning Science Group, 2005)
- 授業期間終了の半年後に授業内容をどれほど覚えているか調査
 - 授業で学んだ内容を説明できる学生は2%
 - キーワードのみを思い出せる学生は29%

15

本授業のリテンション評価

- 2012年度の、このタイプの授業の受講生に6月にリテンションの確認を行った
- 受講者15名中12名が回答
- 覚えている平均キーワード数 (誤っているものは除く) : 4.45 (MIN:2 MAX:8 Medium 4)

● 覚えている受講生のほとんどが現在も受講した内容を他の授業、部活、日常生活に活用している

● ラーニングコモンズにインフォーマルラーニングの場を求めて、学習成果を活かしている学生も多い

Flipped Classroom (反転授業)

「講義内容を『宿題』に、従来『宿題』とされていたことを授業で」

授業をディスカッション中心にすることができる

- OCWやMOOCsを見て、知識を入れることを宿題にすることができる

Flipped Classroom

- ゼミのように授業内を議論等のインタラクティブ中心の授業構成としたい
- 知識習得を授業外にOCWなどのOpen Educational Resource (OER)を活用させ、その内容について授業中に議論等を行う
- 国内では東京大学、島根大学、山梨大学などが代表的

授業における協調的な学習活動を学生にとって意義深い、モチベーションを高めるように設計することが要点となる

アクティブラーニングのポイント

- コミュニティの形成
 - 他者の考え方を知る、自分の理解を省察する機会の設定
- 授業方法の多様性（理解度把握、インタラクティブ性を意識する）
 - すべてがコラボラティブなものではない
 - マスタリー型 or 高次型（山内, 2014）
 - 講義型であっても、学生の学習に対する責任感、能動性を引き出せるのであれば、それはアクティブラーニングと呼んでも良い
- 授業外学習支援
 - 授業だけではとてもじゃないけど、学習目標を達成できない
 - 授業設計上、授業外で行ってくるべきこと、授業で行うべきことを整理する必要がある

ラーニングコモンズにおける学習支援 国内外の事例

コモンズにおける学習支援

- フォーマルラーニングの支援
 - 授業との連動を意識した環境とリソースを提供する
- インフォーマルラーニングの支援
 - 学生の部活動など、授業とは直接関係がない、だが、学びの要素が十分に含まれるものに対する環境整備

- 自分の学びのスタイルが許容される場
- 学びを支える学習コミュニティの形成
- 教員との連携

フォーマルラーニングの支援

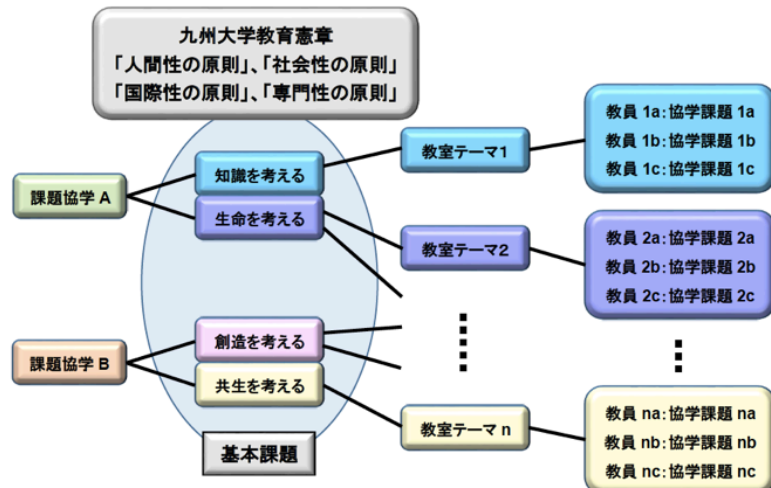
学習支援サポーター（秋田大学）

日本人向け英語学習支援も行っている

基礎的学力の育成



九州大学の事例：基幹教育



25

九州大学の事例：Cuterによる学習支援

図書館学習サポーター

- ・ 図書館資源の活用支援
- ・ 専門分野の支援など

学習相談だけではなく、パスファインダーの作成、Cuterの専門を活かしたイベント企画と実施等も行っている

図書館資源

- ・ 設備、場の管理
- ・ 人材育成

高年次キャンパス

- ・ 学術論文、キャリア形成支援
- ・ 大学生活の適応など

26

レポートライティングの支援

- 課題協学科目の他、講義型授業、セミナーでも求められる力
- 図書館と連携し、その効果検証のため、形成的評価を行っている
 - 課題協学1科目、講義型授業1科目で試行評価
 - 6月に1回（図書館員実施）、7月に1回実施（Cuterが実施）
- レポートライティングセミナー参加・不参加群で課題得点、最終成績との関係を分析した
 - 講義型授業の受講者のみで評価（N=171）

27

Cute.Guidesの活用

九州大学附属図書館
Kyushu University Library

Learn more, expand your knowledge Cute Guides

Library > Cute.Guides > 環境教育

環境教育 Tags: 課題協学

～課題協学：安心な地球環境を求めて～ 山田政寛先生担当分のガイドです。

最終更新日/Updated: Jan 17, 2014 | URL: <http://guides.lib.kyushu-u.ac.jp/kyogaku> | [ガイドを印刷する](#)

Home コメント(0) ページを印刷する 検索: 図書館蔵書・論文を検索する 検索する

授業との連動
ただのパスファインダーではない、シラバスでは対応できない情報を掲載している

授業外でも、通学時間、アルバイト中の休憩時間など、ちょっとした合間でも学習が可能です。ぜひ活用してみてください。この授業以外でもいろんな場面で活用できます。ただし、使われる場合は、ちゃんとコミュニケーションのマナーを理解し、注意して使うようにしてください。パチャルとはいえ、対面のコミュニケーションマナーと変わりませんので。

Lifehacker Google+をこれから始めたい人への5つのアドバイス (2013/12/05取得)
<http://lifehacking.jp/2013/01/starting-google-plus/>

G+プロジェクト：Google+ プロジェクト: 現実世界の人間関係をウ

環境教育入門 イッド・セルビー著
所在記号: 375/G 84 (伊都園
(理系)1F 開架)
ISBN: 4750310174
出版年: 1998

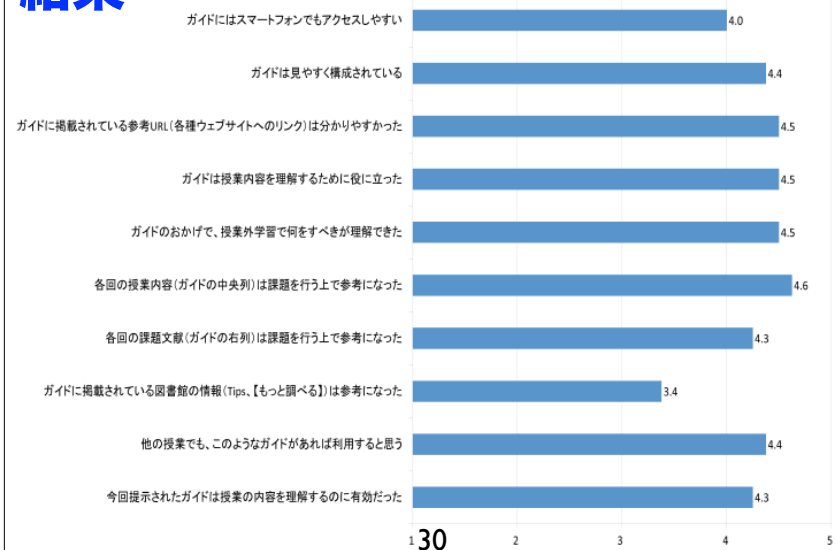
環境教育 - 日本環境教育学会
編
所在記号: 519.07/N77
ISBN: 4316803158
出版年: 2012

パスファインダーと授業の連携事例 (野原・井川・山田, 2014)

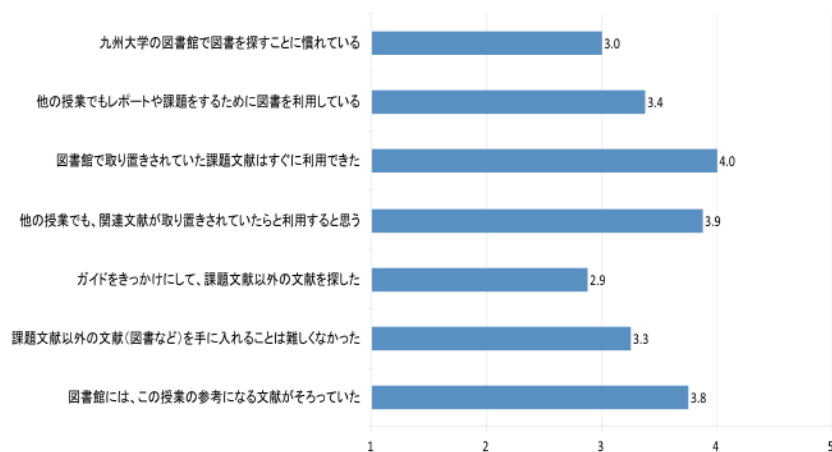
● 課題協学科目

回	授業スタイル	課題
1	講義型＋議論	環境教育の事例（国内外）、環境保護に関わる心理、ゲーム型教材の事例と評価、導入に必要なこと、それぞれについて記述されている文献（4つ）を分担し、読み、内容を整理してくる
2	体験型	・ゲームの開発に関係する書籍で重要となる4つの章を分担し、それぞれ中身を整理してくる ・ゲーム教材のデザインを考えてくる
3	議論	・ゲーム教材のデザインを考えてくる ・発表用のスライドを作成してくる
4	発表	・全回分の授業の中で重要と考えるキーワードの説明 ・効果的だと考える環境教育とはどういうものか ・自分は将来、環境教育にどう関われるか

結果



結果



図書館職員の声

- 学修支援のため、授業内容を把握するチャネルが増えた
- 授業向け図書コーナーへのアクセスを確実なものにすることが可能となり、学修支援ができたと思う
- 必ずしも学習の場としての図書館利用にはつながっていない
- 学生と書架を切り離すことになり、通常の書架へのアクセスを工夫する必要がある

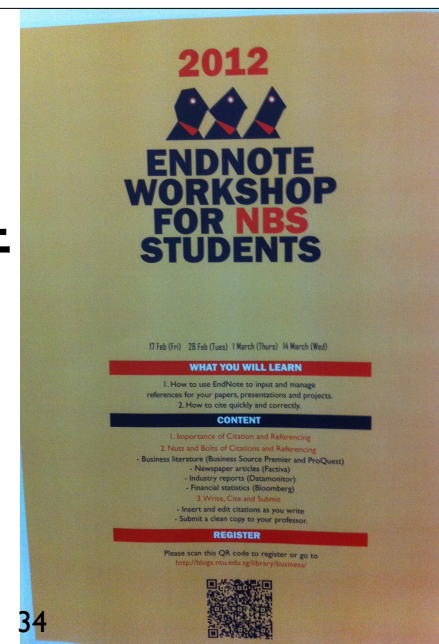
海外の事例

33

学習支援

- 情報管理ツールのセミナー
- 講習形式とeラーニング
- 確認テストで習熟度を確認できる
- 学習スキル支援
- ノートテイキング
- ライティングなど

34



MONASH University Library

Library home | Catalogue | Resources | Services | Help | Libraries | About us

Staff directory | A-Z index | Site map

Monash University > Library > Learning-skills

Learning skills

Learning skills advisers work with students and staff to enable students to develop their academic language and approaches to learning, including:

- study methods and exam preparation
- collaboration and teamwork
- effective listening and note-taking
- problem-solving and critical thinking
- reading strategies
- essay, report and thesis writing
- writing for research projects
- academic English
- oral communication and presentation

モナシュ大学図書館で習得支援する学習支援スキル

Undergraduate students

Note: Monash College students should approach Learning Skills Advisers at Monash College.

- [drop-in sessions](#) during semester
- workshops and classes
- individual sessions for students with referrals
- [Language and Learning Online](#) includes online tutorials, interactive exercises and examples of Writing for Subjects

Learning skills advisers

- [find an adviser](#)

Workshops and classes

- [Berwick Library](#)
- [Caulfield Library](#)
- Clayton
 - [Hargrave-Andrew Library](#) Information Technology, Engineering, Science, Medicine & Health

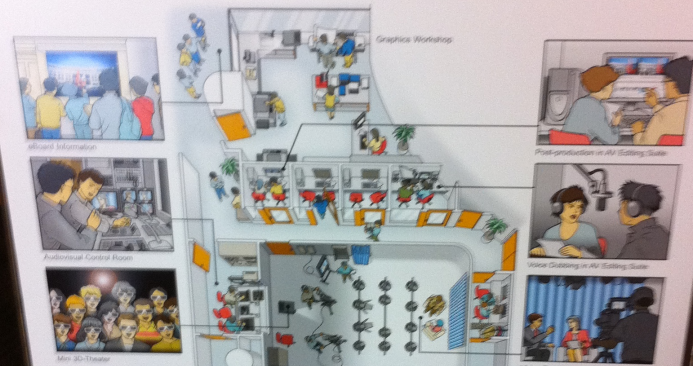
直接的な学習支援

- 学習スキルの支援（モナシュ大学・ジョージア工科大学）
- 他部局（ライティングセンター等）との連携
- 他部局の方がラーニングコモンズに来て、学習支援をする
- 図書館の目標と大学の教育目標とのすりあわせ
 - 香港大学、ロチェスター大学、ジョージア工科大学
- eラーニングでのコース提供（シンガポール）

大学のカリキュラム、教育目標に対して、図書館が
何ができるか、考えなくてはならない

図書館の役割や大学の強みを活かす

Creative Media Zone Learning Commons
Operated by Publishing Technology Center



香港科技大学のメディアクリエーション
プロジェクト
Work in Progress. For Authorized Person Only
37



個人学習のエリア

大学院生は2週間予約できる

顔が見えるサービス

Humanities & Social Sciences Librarians
Communication & Information Librarians



Engineering Librarians



Science Librarians



大学の特徴に沿った学習支援に向けて

41

これからの人材を育てる大学図書館

- さまざまな学習スタイルに対応した空間設計
 - フォーマル・インフォーマルラーニングへの対
- 教育・学習のトレンドに対してアンテナを張り、既存の学習観・制度に縛られない発想と行動が必要**

- 人が集まる場所（「学び」の日常化）
- 楽しい場

42

教員・図書館職員に求められる意識改革

- どういう図書館を目指したいのか、**意識の共有**が必要（ラーニングコモンズは必要？）
- 大学の特徴・強み・弱みを理解しているだろうか
- 教職員は組織で意識を合わせているだろうか
- 図書館職員（「教員」も）自身が「学ぶ」存在になっているだろうか？
 - **インプットするだけ**で満足してませんか？（図書館職員にとっても多い）
- 自身の経験に基づく学習観は**変わらなくても**、利用者である学習者の学習観、求められる人材像・スキルは**変わる**
 - 学習観の押しつけ、「あなた」が考える「図書館像」は、もはや**時代に合っていない**かもしれない
- 職員の異動問題（かなり頭が痛い問題）：組織文化の定着

運用の問題

空間・ツール・人・コンテンツはそろったが・・・問題は運用

- 運用1つで、学習支援環境は良くも悪くも変容する
- 図書館員の教育観・学習観は？
 - 委員会の教員の思想もある（旧来の教育観・学習観から脱却できない）
- 図書館が教育・学習研究の実践の場として独立する？

ご質問・コメントはお気軽に

mark@mark-lab.net

<http://mark-lab.net/>

Twitter: @mark_yk